



平畑から叶木へ 山道の草刈り

7月6日、平畑地区の山の上にある「和樂の里」(現在休業中)から、叶木へと抜ける山道の草刈り作業が行われました。かつてから続くこの道を残していこうという思いのもと、平畑地区の有志約14名が中心となって取り組みました。

この山道は、「和樂の里」がある中畑の集落から叶木の集落へと抜ける約1.5kmの道のりで、古くは主に叶木の住民が祖生方面へ向かう生活道として使われていたそうです。現在ではこの道を日常的に利用する人はいませんが、実は非常に重要な役割を担っています。というのも、中畑には現在、私を含めて2世帯が暮らしていますが、平畑地区の麓から中畑へ上がる道路は、大雨の際に土砂崩れなどで通行不能になることがあり、そのたびに集落が孤立してしまう恐れがあります。そうした際に、叶木へと抜けるこの山道が使えることは、まさに命綱ともいえるライフラインの確保につながるのです。

草刈り作業は朝7時、まだ涼しい時間帯から始まりました。普段は人通りがほとんどない道のため、

草が生い茂っているだけでなく、倒木や落石なども見られ、それらの除去も含めた作業となりました。約2時間ほどの作業で、皆さん汗びしょりになりながらも、道はすっかり綺麗になり、車の通行も可能になりました。

祖生地区には他にも多くの山道がありますが、近年は車で通れる道が少なくなってきています。そんな中で、この道がこうして維持されていることはとてもありがたいと、集落にとっての安心にもつながります。暑い中、作業に参加して下さった皆さま、本当にありがとうございました。

なお、この草刈り作業は、市の「中山間お助け活動支援事業」を活用して実施されました。この制度は、高齢化や人手不足に悩む集落に対し、他集落の5人以上で構成された支援チームが草刈りなどの作業を行った場合に、実費を上限5万円まで補助するというものです。詳しくは、祖生出張所または周東総合支所地域振興課までお問い合わせください。



末東自治会での活動報告

今年度から集落支援員は、まだ集落点検（戸別訪問）を実施していない自治会のうち、特に高齢化率の高い地域を優先して訪問し、併せて自治会単位での集会に参加させていただいています。集会では、点検結果をもとに、地域の課題や関心に即した議題の提案や、市が実施している各種支援制度の紹介などを行っています。

5月から6月にかけては、末東自治会にて集落点検を実施し、2回にわたり自治会集会にも参加させていただきました。訪問時には、「まあ、上がっていきんさい」と気さくにお声がけいただき、2時間ほどお宅でお話を伺うこともしばしばありました。皆さまの温かなおもてなしがとても心地よく、昔話や地域の思い出なども楽しく聞かせていただきました。

そのなかで寄せられたご意見としては、「新たな借主や買主が見つかるまでのあいだ、所有者が手入れできない空き家を地域で代わりに管理できないか」といった声や、「島田川上流の手つかずの自然景観を活かし、何か地域資源としての活用ができないか」と

いった前向きなご提案もありました。ただし、今回はこれらのテーマを集会の議題として深く掘り下げるところまでは至りませんでした。

また、集会では、岩国市が実施している以下の4つの支援制度についてもご紹介させていただきました。

「中山間お助け活動支援事業」「空き家情報登録制度」「みんなの夢をはぐくむ交付金」「市民活動人材育成事業補助金」

末東での活動期間中に、「空き家情報登録制度」への登録申請が1件あり、確認の結果、一部修繕を行えば登録できる状態でした。家主様は、今後修繕を行い、再申請することも検討しているようで、今後の展開が期待されます。

末東自治会の皆さま、この度はご協力いただきありがとうございました。今後も地域の皆さまと連携しながら、安心して暮らせる集落づくりに取り組んでまいります。引き続き、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

